



平成25年3月期 第2四半期 決算説明会

クボテック株式会社

経営成績

(単位：百万円)

	当第2四半期 (平成24年9月期)	前第2四半期 (平成23年9月期)	前 期 (平成24年3月期)	当期予想 (平成25年3月期)
売上高	792	2,490	3,328	2,100
営業利益(△損失)	△ 333 (△42.1%)	134 (5.4%)	△ 209 (△6.3%)	△ 600 (△28.6%)
経常利益(△損失)	△ 333 (△42.1%)	126 (5.1%)	△ 235 (△7.1%)	△ 610 (△29.0%)
当期純利益(△損失)	△ 343 (△43.4%)	94 (3.8%)	△ 262 (△7.9%)	△ 600 (△28.6%)

◎当第2四半期は、主力の画像処理外観検査装置の大幅な減収で売上、利益ともに前年同期を下回りました。

◎通期は、大型液晶パネルの需要が低迷し大手FPDメーカーの設備投資が依然低調の中、画像処理外観検査装置の大幅な減収見込みから、業績予想を修正しました。

◎海外子会社のKubotek USA、KUBOTEK KOREAは堅調に推移し、通期では業績への寄与を期待しております。

貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成24年9月期)		前第2四半期 (平成23年9月期)		前 期 (平成24年3月期)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
流動資産						
現預金	2,258	42.3	3,006	44.5	2,199	38.6
売上債権	645	12.1	1,158	17.1	999	17.5
在庫	567	10.6	634	9.4	578	10.1
その他	△ 35	△ 0.6	△ 22	△ 0.3	△ 3	0.0
固定資産	1,901	35.6	1,981	29.3	1,924	33.8
資産計	5,338	100.0	6,758	100.0	5,697	100.0
流動負債	2,975	55.7	3,238	47.9	2,749	48.3
固定負債	1,003	18.8	1,447	21.4	1,232	21.6
負債計	3,978	74.5	4,685	69.3	3,982	69.9
資本金	1,951	36.6	1,951	28.9	1,951	34.3
利益剰余金	△ 558	△ 10.5	142	2.1	△ 214	△ 3.8
その他	△ 33	△ 0.6	△ 21	△ 0.3	△ 21	△ 0.4
純資産計	1,359	25.5	2,072	30.7	1,715	30.1
負債及び純資産合計	5,338	100.0	6,758	100.0	5,697	100.0

◎総資産は、前年同期末に比べ、現預金、売上債権などで14億円減少し、53億円となりました。

◎負債は、前年同期末に比べ、仕入債務などで7億円減少し、39億円となりました。

◎純資産は、前年同期末に比べ、純損失の計上から7億円減少し、13億円となりました。

報告セグメント別売上高

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成24年9月期)		前第2四半期 (平成23年9月期)		前 期 (平成24年3月期)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
日 本	466	58.9	2,208	88.7	2,810	84.4
米 国	165	20.8	119	4.8	248	7.5
韓 国	160	20.3	162	6.5	269	8.1
計	792	100.0	2,490	100.0	3,328	100.0
うち海外	513	64.8	1,932	77.6	2,280	68.5

◎日本では、大手FPDメーカーの設備投資は慎重で、主力製品である画像処理外観検査装置が、前年同期に比べ大幅な減収となりました。

ハイビジョン映像伝送装置や3DCADシステムは、前年同期並みの売上となりました。

◎米国では、積極的な販売活動でCAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が大幅に増加しました。

◎韓国では、大手FPDメーカー向け画像処理外観検査装置関連の売上により、前年同期並みとなりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成24年9月期)	前第2四半期 (平成23年9月期)	前 期 (平成24年3月期)
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	56	128	△ 511
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 80	△ 85	△ 140
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	80	596	493
IV.現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3	△ 3
V.現金及び現金同等物の増加額	59	642	△ 163
VI.現金及び現金同等物の期首残高	2,106	2,269	2,269
VII.現金及び現金同等物の期末残高	2,165	2,912	2,106

◎営業活動によるキャッシュ・フローは、純損失の計上はあるものの売上債権の回収などから、5千万円の収入となりました。

◎投資活動によるキャッシュ・フローは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の開発投資などにより、8千万円の支出となりました。

◎財務活動によるキャッシュ・フローは、借入により8千万円の収入となりました。

まとめ

- ◎液晶をはじめとするFPD分野では、大型液晶パネルの需要が低迷し、スマートフォンやタブレット端末など中小型パネルへの設備投資も慎重な動きが見られるなど、大手FPDメーカーの設備投資は依然低調です。
- ◎当第2四半期は、アジア地域向けの画像処理外観検査装置の減収により当初の予想を下回りました。
- ◎通期は、厳しい事業環境の中で利益率の改善、固定費の削減、新製品・新事業の開発にも取り組んでおりますが画像処理外観検査装置の大幅な減収見込みから、通期業績予想を修正しました。
今後は、早期に新製品、新規事業を立上げ、固定費の削減に取り組み、事業構造の転換に向け努力する方針です。